

言語通級指導教室 1年間の流れ（例）

学期	月	内容	ポイント
一学期	4	第1週（春休み） 児童生徒に関する情報収集 ・前担当者からの引継ぎ ・昨年までの指導状況の把握 第2週 保護者との懇談 <u>在籍校訪問</u> ・在籍学級での児童生徒の様子を参観 ・担任や特別支援教育コーディネーターとの懇談（顔合わせと時間割の相談） 第3週 <u>時間割の作成</u> <u>通級指導教室開級式・入級式の開催</u> 第4週 指導開始 実態把握	【時間割決定までの流れ】 ＜他校通級の場合＞ ① 保護者から通級可能な曜日・時間を聞く。 ② 在籍学級の担任から学級として都合が悪い曜日・時間を聞く。 ③ ①②から、時間割を調整する。 ④ 時間割決定後、通級の日時を文書で学校長、担任、保護者宛てに連絡する。 ＜自校通級の場合＞ ① 担任から学級として都合が悪い曜日・時間を聞く。 ② 他校との調整を図りながら、時間割を調整する。 ③ 時間割決定後、通級の日時を文書で学校長、担任、保護者宛てに連絡する。
	5		【実態把握の方法】 ・保護者との懇談 ・個人プロフィール（保護者記入）の確認（生育歴、相談歴、園や学校での様子、家庭での様子、願う姿など） ・在籍校担任からの話（学校での様子など） ・前担当者からの引継ぎ ・構音検査、音の聴覚的な記憶力の検査、言語発達に関する検査、心理検査など ・話す意欲やコミュニケーションの様子を観察 ・発声・発語器官の運動機能の状態把握 ・関係諸機関からの情報の活用 など
	6	<u>通級における個別の指導計画作成</u>	
	7	<u>学期末評価</u> （個別の指導計画の加筆・修正） <u>在籍校訪問</u> ・在籍学級での児童生徒の様子を参観 ・担任や特別支援教育コーディネーターとの懇談（1学期の評価と2学期の支援について）	
二学期	8	必要に応じて保護者との懇談	【個別の指導計画の作成や修正】 ・児童の実態に基づき、自立活動6区分27項目の指導内容を踏まえて作成。 ・児童や保護者、在籍校の担任等と話し合い、学期ごとに評価し、加筆・修正を加えていく。
	9		
	10	<u>通級懇談会</u> ・担任や特別支援教育コーディネーターが通級指導教室を訪問（通級指導教室における児童生徒の様子を参観、来年度の就学について相談） <u>次年度入級希望者等の保護者の教室見学、教育相談</u>	【在籍校、在籍校担任との連携】 ・在籍校訪問では、通級における個別の指導計画と、在籍校における個別の教育支援計画、個別の指導計画を基に、在籍校で支援することと、通級指導教室で指導することを明確にする。 ・通級懇談会では、通級指導教室の施設見学も行い、在籍校担任等に指導の様子を参観していただく。 ・自校児童の学習や生活の様子は随時参観し、担任と連携を図る。
	11	就学時健康診断（ことばについて簡単な検査を実施）	
	12	<u>学期末評価</u> （個別の指導計画の加筆・修正） <u>在籍校訪問</u> ・在籍学級での児童生徒の様子を参観 ・担任や特別支援教育コーディネーターとの懇談（2学期の評価と3学期の支援について）	【次年度への準備】 ・来年度も継続して指導を行う児童生徒の個別の指導計画を見直し、次年度へ引き継ぐ。
三学期	1	<u>次年度入級対象者等の保護者の教室見学、教育相談</u>	
	2	<u>学期・学年末評価</u> <u>在籍校訪問</u>	
	3	・担任や特別支援教育コーディネーターとの懇談（今年度の評価と来年度の支援について） <u>通級指導教室閉級式・退級式</u>	